

参考資料5

アクションプラン(行動計画)

NO.1

取組内容	どのように「日常的なにぎわいの実現」に繋げるのか	事業実施主体	1年目(令和7年度)		2年目(令和8年度)		3年目(令和9年度)		4年目(令和10年度)		5年目(令和11年度)	
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
<1.たまり場> 誰でも気軽に交流できる場「たまり場」を定期的に開催し、地域の情報や各グループ・団体の取組状況等を共有するとともに、新たな出会いの創出や空き店舗の活用、起業等につなげる。	主に、以下のテーマの情報交換、共有、発信等を行い、地域コミュニティ(人ととの結びつき)を強化する。 ①まちづくりのアイデア出し ②起業者の応援 ③地元おこし協力隊等、移住者(Iターン、Uターン)への情報提供 ④空き店舗・空き家・事業承継、雇用の情報の提供・共有 ⑤メンバー間の活動状況の共有 なお、「たまり場」の開催は振興計画の対象エリア内の既存店舗の利用や飲食物の購入等により、店主や関係者の巻き込みを図る。	交流の場づくりグループ									たまりば(1回／月)	
<2.軽トラマルシェ> 軽トラやリヤカー等を使ったマルシェを商店街で開催することで、市内外から集客し、日曜市のような賑わいを創出する。また、農福連携を取り組む就労継続支援B型事業所「TEAMあき」や高校生など幅広い人達がイベントを通じて交流することで、社会とつながるきっかけづくりとなる機会も創出する。	第1期振興計画に基づき取り組んだ「軽トラマルシェ」の活動を継続するとともに、振興計画に基づく取り組みや地域で行われている既存の取り組みと連携することで、地域との更なる交流と農福連携のPRを促進し、子どもから大人までの多世代を対象とした交流人口の増加を図る。 また、既存の取り組みや地域の事業者等との連携により、イベント実施に伴う経済波及効果の創出を図る。	(主担) イベントグループ 軽トラマルシェ実行委員会(委員長:松本健) (サポート) こうち絆アーナム、安芸本町商店街振興組合、JA高知県安芸支所、地域活動支援センターニコスマイル、高校生など									軽トラマルシェ継続開催	
<3.高校生マルシェ> 高校生とともに安芸市中心商店街等で開催されるイベントに出店し、若者の興味のある催しを行うことで、若者と地域住民との交流を図ると共に、商店街も含めた安芸のまちへの愛着を育み、まちのにぎわいを創出する。	第1期振興計画に基づき取り組んだ「高校生マルシェ」の活動を継続するとともに、地域で行われている既存の取り組みと連携することで、地域との更なる交流を促進し子どもから大人までの多世代を対象とした交流人口の増加を図る。 また、活用可能な空き店舗等において、高校生等が興味をもつ取り組みの実施に挑戦することで、事業運営の魅力を見出すきっかけとなり、将来的起業家育成を図る。	商店街魅力向上委員会(委員長:並村努)、本町Aki & 安芸高校生、地域の商工業者など									高校生マルシェ継続出店(3回／年)	
<4.日常の営み+α> 中心商店街等において、店舗及び空き地ならびに空き店舗等を活用して、日常の営みに+αとなる取り組みを行い、地域内の住民や事業者の交流を更に促進し連携を深めることで、中心市街地の一帯感を醸成する。また、地域にある魅力的なコンテンツを活用した取り組みを行ひ地域の更なる周知を図ることで、エリアの魅力向上を図る。	商店街店舗や住民等地域の有志が、本業や趣味等の様々なワークショップを各店舗等で開催することで、その店舗等に足を運ぶきっかけを作るほか、ワークショップ等を通じて将来商店街等で起業するきっかけを作ることでエリア内ににぎわい創出につなげる。	未定 (想定される団体など: 安芸本町商店街振興組合、地域活動支援センターニコスマイル、社会福祉法人土佐厚生会、安芸青年会議所、地域の商工業者など)									商店街でラジオ体操	
<5.観光コンテンツの造成> 中心商店街等を核としてその周辺地域も含めたエリアにおいて、地域資源の新たな魅力を発掘するとともにその資源の活用策を検討する。 また、既存資源を活用した取り組みを行うことにより、エリアにおける観光地としての魅力を発信する。	地域住民と連携しながら既存資源の新たな魅力作りに取り組むほか、空き店舗や空き地等も活用した観光コンテンツの造成を図ることで、安芸市外の方へもこれまで以上に地域の魅力を発信し交流人口の拡大を図る。	未定 (想定される団体など: 安芸本町商店街振興組合、地域活動支援センターニコスマイル、社会福祉法人土佐厚生会、安芸青年会議所、あきコス☆実行委員会、地域の商工業者など)									空き店舗等へのチャレンジ出店等実施	

アクションプラン（行動計画）

NO.2

取組内容	どのように「日常的なにぎわいの実現」に繋げるのか	事業実施主体	1年目(令和7年度)		2年目(令和8年度)		3年目(令和9年度)		4年目(令和10年度)		5年目(令和11年度)	
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
<6.安芸市の魅力の発見・可視化・発信>												
第1期振興計画に基づき安芸市全域および中心商店街の魅力を発掘・整理し、アーカイブ化とともに、地域の価値を高めるコンテンツを創出。観光促進や地域活性化につながる仕組みを構築する。	①まち歩きマップの改訂・増刷・発信 ・地域のストーリーを伝えるWebマガジンを構築し、多角的な情報発信基盤を確立 ・改定時は継続して住民視点での取材・記事制作を推進 ・5年以内に1回の改訂を行い、最新の地域情報を反映しながら価値を高める ②多様なマップ展開と地域特性の可視化 ・地域別マップの作成(例:赤野地区、土居地区、商店街店舗など)、地域ごとの特色や魅力を深掘り ③「自然歩きマップ」開発への情報蓄積 ・自然環境の変化や地域の資源を把握し、環境保全・エコツーリズムにつなげる ・他地域との比較を通じて安芸市の独自性を際立たせる ・調査データの蓄積により、今後の地域づくりや観光施策の基盤を形成	(実施主体) 情報発信グループ For the future (サポート) 安芸高校 四国銀行 安芸本町商店街振興組合 安芸商工会議所										
	○観光資源の魅力化と情報発信強化による来訪者の増加(英語版配布継続によるインバウンド需要の増加) ○地域住民の関心と参加を促し、地域への愛着を醸成 ○配布や作成など行政・企業・教育機関との連携を強化								①日本語版、英語版ともになくなつた時点で増刷。 魅力的な店舗などが中心商店街等に増えた時点で見直し、再取材、再発行			
								②魅力的な店舗が地域毎に増えた時点で、第1弾を取材、制作、発行。その後、増刷				
<7.地域文化と歴史を活かしたイベントの再構築>												
①東洋的漫遊祭を中心とした地域振興 ・地域の文化的特色や歴史ある街並み、豊かな自然をPRし、体験型イベントとして「東洋的漫遊祭」を中心に開催してきた。今後もこれにより、地域の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。 ①-1開催頻度の最適化 ・持続性と内容の充実を考慮する。 ・ミニ版のイベントを隨時開催し、継続的な発信を行う。 ①-2「歴史と文化の香るまち安芸市」のPR戦略 ・歴史ある町並みと特色ある伝統文化を保存・活用し、観光資源としての価値を向上させる。 ・文化財や歴史的建造物の維持・活用を進めよう。 ・伝統文化を磨き上げ、観光コンテンツとして発展させる。 ・多角的な情報発信を行い、地域ブランドの確立を目指す。 これらの取り組みにより、安芸市の魅力をより多くの人に伝え、持続可能な地域振興を実現する。	○地域文化の継承と活用 ・盆踊り、獅子舞、郷土料理など、安芸市に残る伝統文化を活用・協力し、後世に継承。 ・これらの文化要素を活かした観光コンテンツの開発。 ○地域活性化と移住促進 ・イベントを通じて、多様な人々がまちづくりに関わる機会を創出。 ・出店者の中から安芸市への移住希望者を発掘・支援し、地域の活性化につなげる。 ○既存の祭り・関わる住民有志の連携と発展 ・「東洋的漫遊祭」の開催を軸に、地域に根付く既存の祭りと協調しながら、より広範な交流人口の創出を目指す。 ・市内外の多業種、多世代が参加できる場を提供し、また地元有志の面々がよりつながりを持つことによる新たな取り組みの創出を促進。 ・新規出店者の誘致、事業継承、空き店舗の活用を推進し、地域経済の発展を図る。 ○ノウハウの共有と継承: 高校生へのイベント運営ノウハウを共有することで、次世代にスキルや知識を伝え、地域のイベント運営の持続可能性が高まる。	(実施主体) 情報発信グループ For the future (サポート) 安芸市観光協会 高知県東部観光協議会 安芸市役所 安芸商工会議所 安芸本町商店街振興組合 交流の場づくりグループ 安芸市中心商店街等振興協議会						①持続可能な東洋的漫遊祭について検討、実施 隔年で開催、または、違った形で開催				
<8.海岸のロケーションを活用した催し>												
①かがりビーチの継続と発展 地域全体の参加: 安芸高校生への依存を超えて、地域全体での協力体制の構築。 ノウハウの共有と継承: 高校生へのイベント運営ノウハウを共有し、高校生が参加しやすい仕組みを整える。生徒たちが意欲的に関わるようなプログラムや商い甲子園の前夜開催など交流を取り入れる。 ②浜弁当の風習を通じた地域振興 定期的なイベントの確立: 毎週または月に一度、「浜弁当の日」を設けて商店街の飲食店の砂浜販売を誘致。 商店街との協力: 商店街のさまざまな店舗(例:いまむら、山崎鮮魚店、はまかわ、和食屋)と連携し、歩行者天国を形成して食べ歩きが楽しめる環境を整える。地元の食文化を体験できる機会を提供する。	○学生・若者を中心としたイベントの継続により、親世代・祖父母世代の地域住民がイベントに積極的に参加することで、三世代コミュニティの結束が強化される。 ○ノウハウの共有と継承: 高校生へのイベント運営ノウハウを共有することで、次世代にスキルや知識を伝え、地域のイベント運営の持続可能性が高まる。 ○商い甲子園に参加する市外県外の生徒との交流を促進し、新しいビジネスアイデアや地域活性化アイデアを創出する。 ○「浜弁当の日」の定期的な開催により地元の飲食店が参加し、砂浜販売を通じて地域の食文化を体験できる機会を提供する。 ○商店街との協力: 商店街のさまざまな店舗との連携により、歩行者天国を形成し、地域の食べ歩き文化を育むことで商業活動の活性化を促す。	安芸高校生 全国「商い甲子園」 実行委員会 安芸本町商店街振興組合 (サポート) 安芸市観光協会 高知県東部観光協議会 安芸市役所 安芸商工会議所 安芸市中心商店街等振興協議会	①実施に向けて検討(全国「商い甲子園」実行委員会)		実施効果を検証し、継続可否を決定							
								②実施に向けて検討(主催者未定)				

アクションプラン(行動計画)

NO.3

取組内容	どのように「日常的なぎわいの実現」に繋げのか	事業実施主体	1年目(令和7年度)		2年目(令和8年度)		3年目(令和9年度)		4年目(令和10年度)		5年目(令和11年度)				
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期			
<9.商店街×若者>															
①取り組みの例															
①-1 本町通 無人図書室の市	地域住民が気軽に参加でき、定期開催の負担が少ない催を通じて、商店街の賑わいを育む仕組みを構築する。特に、空き店舗での図書館カフェなど、地域に馴染みのある場所を活用し、人が集まりやすい環境を整備する。	(実施主体) 情報発信グループ For the future 安芸本町商店街振興組合 (2)は、安芸市中心商店街等振興協議会全グループで実施													
①-2 空き店舗×地域イベントの定期開催	○地域交流の活性化 店主・住民・来街者が自然と関わる機会を増やし、商店街全体のつながりを強化。														
①-3 街なか井戸端スポット＆緑化プロジェクト	○商店街のPRと認知度向上 小さな変化を継続的に発信することで、地域内外に商店街の魅力を伝え、来訪者を増やす。														
②運営体制と支援制度	○新たなビジネス・コミュニティの創出 イベントや空間の活用を通じて、起業家やクリエイターがチャレンジやすい環境を提供。新たな事業や文化的活動の芽を育てる。	(サポート) 安芸商工会議所 安芸本町商店街振興組合 交流の場づくりグループ 安芸市中心商店街等振興協議会													
②-1 ノウハウ＆備品貸出の窓口設置	②実施に向けて検討(全グループで)														
②-2 共創型のまちづくり支援	①利用できる空き店舗、空き家、スペースが増えた時点で、企画を考案、実施														
②-3 SNS・メディア活用による発信強化															
<10.全国「商い甲子園」大会>	高校生の商い力を競う体験の場や高校生、安芸市民等との交流の場として、さらに安芸本町商店街や各々の地域がより元気になることを願って開催する。	(主催) 全国「商い甲子園」大会実行委員会 (共催) 安芸本町商店街振興組合 安芸商工会議所 安芸市観光協会 (協力) 安芸高校ほか (協賛予定) 三菱広報委員会 安芸法人会 安芸金融協会	第18回大会 (10月26日)	店舗抽選会 応援スタンプラリー	第19回大会 (10月)	店舗抽選会 応援スタンプラリー	第20回記念大会 (10月)	店舗抽選会 応援スタンプラリー	第21回大会 (10月)	店舗抽選会 応援スタンプラリー	第22回大会 (10月)	店舗抽選会 応援スタンプラリー			
③出場校募集(6~8月)	④大会のふりかえり(11~12月)	⑤出場校へのフィードバック(12月)	⑥次回大会の企画(1月~)	⑦出場校募集(6~8月)	⑧大会のふりかえり(11~12月)	⑨出場校へのフィードバック(12月)	⑩次回大会の企画(1月~)	⑪出場校募集(6~8月)	⑫大会のふりかえり(11~12月)	⑬出場校へのフィードバック(12月)	⑭次回大会の企画(1月~)	⑮出場校募集(6~8月)	⑯大会のふりかえり(11~12月)	⑰出場校へのフィードバック(12月)	⑲次回大会の企画(1月~)
<11.起業ニーズの発掘と起業支援>	高知県主催の移住相談会(東京、大阪)に出席し、高知県移住(い、リターン)に関心を持つ方に安芸市での起業支援に関する情報を提供し、起業ニーズを持つ方に對し、メール、電話、ZOOMによるフォローアップを行う。 安芸市での起業希望者に対して創業計画策定支援、資金繰り相談、店舗物件の紹介等を行う。なお、店舗物件の紹介に当たっては、安芸市役所の「空き店舗バンク」とも連携する。	移住・起業支援を実施することで、関係人口から移住・定住人口創出への道筋を作る。 安芸商工会議所市内不動産業	移住相談会に出席	移住希望者のフォローアップ	移住相談会に出席	移住希望者のフォローアップ	移住相談会に出席	移住希望者のフォローアップ	移住相談会に出席	移住希望者のフォローアップ	移住相談会に出席	移住希望者のフォローアップ			
⑳空き店舗の実態把握(随時)	㉑創業相談対応(随時)	㉒商工会議所空き店舗活用の検討													
<12.スタートアップ支援>	起業直後のスタートアップ期に、「たまり場」への参加を促し、周りごと相談、人脈づくり、情報発信等を応援する。また、認知度を高めるため、「軽トラマルシェ」、「すまいるマルシェ#安芸エール飯」等への出店案内を行う。	起業者(移住者を含む)との新たな交流・連携により、地域コミュニティのひろがりが期待できる。また、移住・起業者が地域コミュニティに早期に参加することで安芸市のこと早く知ることが出来、定住につながる可能性が高くなる。	安芸商工会議所 たまり場メンバー	たまり場案内 軽トラマルシェ等出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等出店案内	たまり場案内 軽トラマルシェ等出店案内	
<13.伴走型支援>	「元気で強い店づくりを目標に、既存店舗(起業店舗を含む)の商品開発、販路開拓、情報発信等の伴走型支援を行う。特に、安芸市の主要産業である! 次産業者が自ら行う販路開拓や、地域の商工業者と連携した商品開発を重点的に支援する。	中心商店街等のエリアで、集客力を持つ魅力的な店舗が増えることで新たな人流の創出が期待できる。	安芸商工会議所	■創業支援 ・創業計画書策定支援等 ■ニーズに応じた個別支援の実施 ・事業計画策定支援 ・プロモーション強化支援 ・新商品開発支援 (ふるさと納税返礼品や域外への販路開拓等) ・展示会出展支援等 ■事業承継・引継ぎ支援センターとの連携											